

令和3年保育士試験（前期）問題


教 育 原 理

（選択式 10 問）

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

（良い例）・・・  （濃くマークすること。はみだしは厳禁）

（悪い例）・・・       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「教育基本法」第2条の一部である。(A) ~ (C) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

教育は、その目的を実現するため、(A) の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、(B) を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、(C) を重んずる態度を養うこと。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	良心	正義	勤労
2	良心	真理	納税
3	学問	正義	努力
4	学問	真理	勤労
5	信教	正義	努力

問2 次の文は、「学校教育法」第11条の一部である。(A) ・ (B) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に (A) を加えることができる。ただし、(B) を加えることはできない。

(組み合わせ)

	A	B
1	懲戒	差別的行為
2	懲戒	体罰
3	処罰	体罰
4	制裁	体罰
5	処罰	差別的行為

問3 次の文のうち、「幼稚園教育要領」第1章「総則」第4「指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価」の一部として、下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 長期的に発達を見通した年、学期、月などにわたる長期の指導計画やこれとの関連を保ちながらより具体的な幼児の生活に即した週、日などの短期の指導計画を作成し、適切な指導が行われるようにすること。
- B 幼児が様々な人やものとの関わりを通して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達を促すようにしていくこと。その際、幼児の発達を促進するため教師が中心となって活動を促し、幼児がより高度な学びを実現していくようにすること。
- C 言語に関する能力の発達と思考力等の発達が関連していることを踏まえ、幼稚園生活全体を通して、より高度な言語環境を整え、小学校教育との円滑な接続を見据えた言語活動の促進を図ること。
- D 行事の指導に当たっては、幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が困難を乗り越えられるようにすること。なお、それぞれの行事については、教師や保護者等に喜びの感情が沸き起こるようなものにすること。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問4 次の文のうち、「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」（平成22年）に述べられた幼児期の教育に関するものとして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 各教科、道徳、特別活動等といった区別がない。
- B 「～ができるようにする」といった具体的な目標への到達を重視する。
- C 経験カリキュラムに基づき展開される。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

問5 次の【I群】の記述と、【II群】の人物を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【I群】

- A ドイツの教育者。神と自然と人間を貫く神的統一の理念に基づき、「自己活動」と「労作」の原理を中心とした教育の理論を述べた。また、家庭教育の向上を図るため、『母の愛と愛撫の歌』を著した。
- B スイスに生まれ、近代教育に重要な影響を与えた教育思想家・教育者。著書『隠者の夕暮』で、教育の場として家庭を重視した。「生活が陶冶する」という名言でも知られている。
- C スイスで生まれフランスで活躍した思想家。子どもと大人の本質的な差異を認め、「子どもの発見者」と言われる。『エミール』の著者で、人間の本来の性は善であるが、伝統、歴史、社会、政治などにより悪くなっていくと主張した。

【II群】

- ア コメニウス (Comenius, J.A.)
- イ ルソー (Rousseau, J.-J.)
- ウ ペスタロッチ (Pestalozzi, J.H.)
- エ フレーベル (Fröbel, F.W.)

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | イ |
| 2 | ウ | ア | エ |
| 3 | ウ | エ | イ |
| 4 | エ | ア | ウ |
| 5 | エ | ウ | イ |

問6 次の文は、昭和16～22年にかけて保育者として働いていた女性が当時を思い出して書いた文の一部である。()に入る人物を一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 関信三
- 2 倉橋惣三
- 3 城戸幡太郎
- 4 澤柳政太郎
- 5 中江藤樹

問7 次の記述にあてはまる人物として、正しいものを一つ選びなさい。

ドイツの哲学者、教育学者。カントの後任としてケーニヒスベルク大学で哲学などの講座を受け持つ。教育の課題とは道徳的品性の陶冶であるとし、多方面への興味を喚起することが必要だと考え「教育（訓育）的教授」という概念を提示した。また、教授の過程は興味の概念に対応しており、「形式的段階」と呼ばれるようになった。この「形式的段階」概念は弟子たちに引き継がれ、「予備・提示・比較・総合・応用」の5段階へと改変された。

- 1 ヘルバルト (Herbart, J.F.)
- 2 ペスタロッチ (Pestalozzi, J.H.)
- 3 キルパトリック (Kilpatrick, W.H.)
- 4 デューイ (Dewey, J.)
- 5 コメニウス (Comenius, J.A.)

問8 次の文は、ある国の教育制度について述べたものである。正しいものを一つ選びなさい。

州ごとに教育制度が定められている国の一つである。初等教育は、基礎学校で行われる。初等教育修了後、中等教育の進学先としては、ハウプトシューレ、実科学校、ギムナジウム等である。そのうちギムナジウムは、大学進学希望者が主に進む。

- 1 スウェーデン
- 2 イタリア
- 3 フィンランド
- 4 イギリス
- 5 ドイツ

問9 次の文は、中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」(平成20年)の一部である。(A)・(B)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

変化の激しい社会においては、各個人が「自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」を身に付けるために、生涯にわたって学習を継続できるようにすることが求められている。特に技術の進展等が著しい中で、知識や(A)等は陳腐化しないよう常に更新する必要がある。また、いわゆる狭義の知識・(A)のみならず、他者との関係を築く力等の豊かな人間性を含む総合的な力は、学校教育の期間と場のみならず、ライフステージに応じて多様な場所や方法で学習し、(B)やその他の社会における活動においてその成果を発揮することを経て身に付くものでもあり、成人の学習についても、このような国民の継続的な学習へのニーズに応えられる環境整備、すなわち学ぶ機会の充実とその成果を生かせる環境づくりが必要である。

(組み合わせ)

- | | A | B |
|---|-----|------|
| 1 | 判断力 | 私生活 |
| 2 | 思考力 | 私生活 |
| 3 | 思考力 | 職業生活 |
| 4 | 技能 | 私生活 |
| 5 | 技能 | 職業生活 |

問 10 次の文は、中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成 28 年）の一部である。（ A ）・（ B ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

通級による指導を受ける児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒については、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援が組織的・継続的に行われるよう、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を（ A ）作成することが適当である。

（中略）

障害者理解や交流及び共同学習については、グローバル化など社会の急激な変化の中で、多様な人々が共に生きる社会の実現を目指し、一人一人が、多様性を尊重し、協働して生活していくことができるよう、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」と関連付けながら、学校の教育活動全体での一層の推進を図ることが求められる。さらに、学校の（ B ）としての学習活動にとどまらず、地域社会との交流の中で、障害のある子供たちが地域社会の構成員であることをお互いが学ぶという、地域社会の中での交流及び共同学習の推進を図る必要がある。

（組み合わせ）

	A	B
1	必要に応じて	教育課程上
2	必要に応じて	授業
3	全員	教育課程上
4	全員	授業
5	ある特定の事例に対して	教育課程上